

# 木の住まいの骨組みを丈夫にしよう

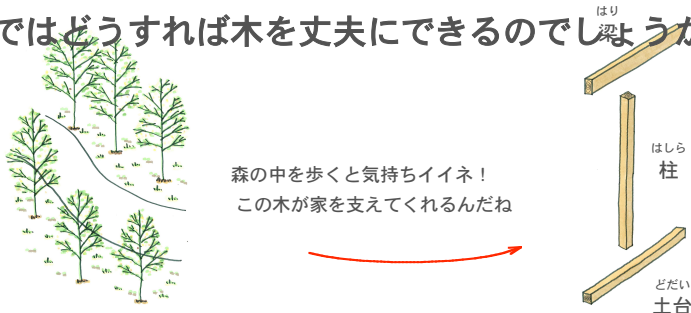
日本の住まいの多くが木で作られています。

その構造は『土台・柱・梁』が支えています。

大切な人が健康で長生きしてくれる事を願う様に

住まいにも健康で長生きして欲しい。

ではどうすれば木を丈夫にできるのでしょうか？

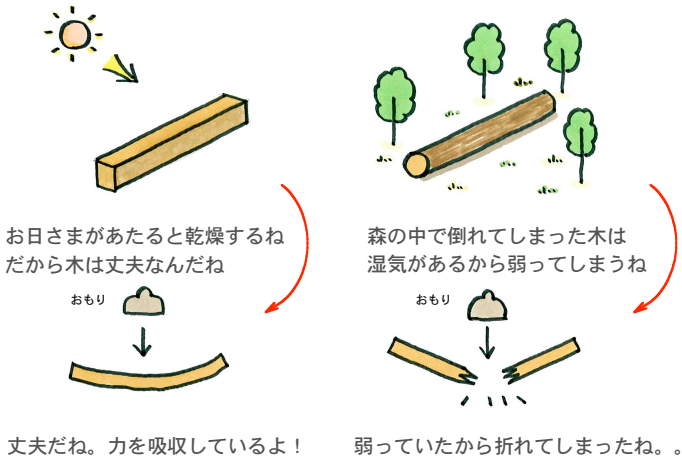


## ■ 木は乾燥すればする程強くなる

昔の家は風通しが良い住まいでしたので、木はよく乾燥しました。

今の家は気密の良い家が多いね。 それなら木は乾燥しているの？

目に見えない『土台・柱・梁』をどうすれば乾燥するのか？



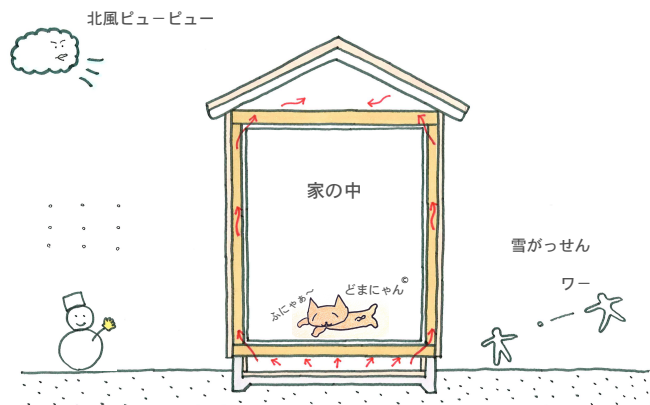
日本最古の建築と言われている法隆寺も、お日さまがあたる所は1000年以上元気なんだって。 でも、日のあたらない所の木は交換してあげるんだって。

## ■ ひとつの答え

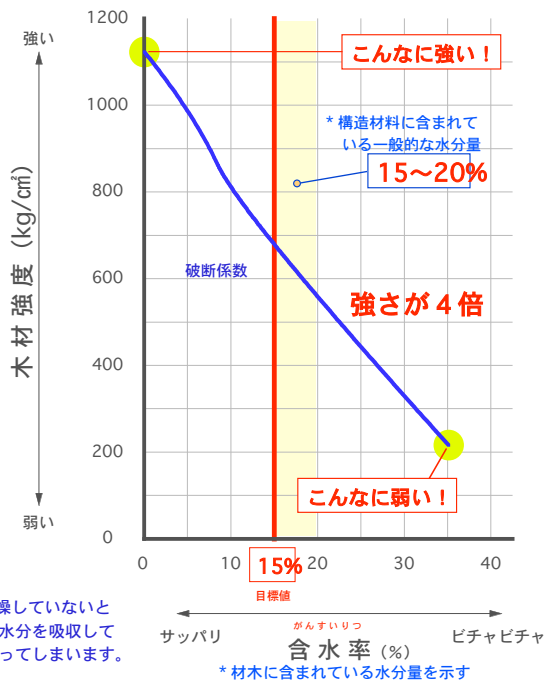
木を乾燥させ湿気から守るには、壁の中の温度を部屋の中よりあたたかくしてあげよう。

- ・建物が外と接しているトコロはしっかり断熱しましょう。  
特に壁の中の気密は要注意だね。（壁の中の結露を防げるね）
- ・あたたかい空気は上に登るから、床下にあたたかい空気をつくろう！  
熱を蓄えるコンクリートを利用しよう。（蓄熱）
- ・壁の中が部屋の中よりあたたかいと、湿気は部屋の中に逃げてくるね。

それを換気扇や窓をあけて外に出してあげようね。  
～ そうすれば大切な木を守っていただけるんだね～

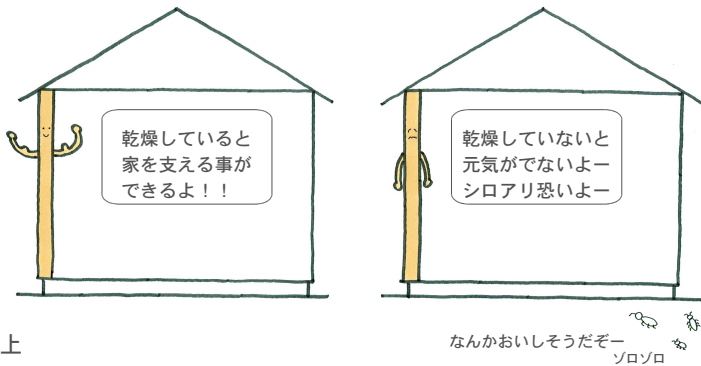


木は乾燥すればどんどん強くなるんだね！



## ■ 湿気が多い所では腐朽菌が発生する

湿気が多いと、木を腐らせる菌 = 腐朽菌が発生します。  
湿気は、温度の高い所から低い所に移動して集まります。  
それなら、壁の中の温度が低いと壁の中が結露するの？



僕の家の木がずっと丈夫なら、森の木も減らないんだね。  
限りある資源を大切にしたいね。